

令和5年度 事務事業マネジメントシート

令和5年度 事務事業マネジメントシート		事務事業No.		10-	5
事業名	認知症総合支援事業（介護特会）	会計	款	項	目
		特会	3	3	7
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施 策	3-3 高齢者福祉の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業 目的	対象	65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	認知症の人とその家族を支えるため、地域の医療機関をはじめ、地域の関係機関と連携した体制を構築することにより、住民誰もが認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。
事業内容	・認知症初期集中支援・・・地域包括支援センターに設置した「認知症初期集中支援チーム」により、認知症（疑いを含む）の人や家族への早期対応・早期支援を実施する。 ・認知症カフェ・・・認知症の人の家族に対する支援の推進としてカフェを開催する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	認知症サポーター養成講座受講者数	5,438	6,071	6,330	人	↑	6,200	
	2	見守り協定企業数	5	5	5	事業所	↑	10	
	3	地域見守りネットワーク協力事業所数	135	135	135	事業所	↑	140	
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				5,380		4,611		5,046	
財源 内訳	直接事業費A			1,414		1,965		2,460	
	うち一般財源			1,414		452		565	
人件費（千円）B				3,966		2,646		2,586	
内訳	一般職員（人・千円）			0.41	2706	0.21	1386	0.25	1,650
	臨時職員（人・千円）			0.7	1260	0.7	1260	0.52	936

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	・認知症への普及啓発 ・「チームオレンジとういん」の活動支援	③取組の課題	・認知症への理解不足がまだまだ十分ではない。 ・「チームオレンジとういん」の育成と活動支援
②R5年度に実施した取り組み	・「チームオレンジとういん」を設立、勉強会を開催するなど育成に取り組んだ。 ・「チームオレンジとういん」の活動支援をし、世界アルツハイマーデーには啓発グッズを作成、図書館に展示するなど普及啓発を実施した。	④今後の改善計画	・認知症への普及啓発 ・「チームオレンジとういん」の増員と活動の拡大支援